

サンゴの移植 ⑩

— サンゴ移植活動のこれまでとこれから —

パネル・ポスター等の展示 9:00～17:00

サンゴ礁保全やサンゴの移植活動に関連した取り組みなど、パネルやポスター・パンフレット・標本などの展示も可能です。展示やパンフレットなどの配布をご希望の方は、当日開始前に各自ご準備頂き、活動の紹介や宣伝あるいは情報交換などにご活用下さい。

開催日：2015年12月3日（木）
会場：名桜大学 学生会館SAKURAUM
スカイホールA（6階）
時間：（講演）10:00-16:30
（ポスター等展示）9:00-17:00
参加費：無料

定員約100名：申し込み先着順

プログラム

挨拶 (10:00-10:05)

- ・後藤和夫（美ら島 研究センター）：開会挨拶

講演 I (10:05-12:00)

- ・西平守孝（美ら島 研究センター）：
サンゴ礁保全とサンゴの移植活動—サンゴの移植⑩の趣旨説明をかねて—
- ①比嘉義視（恩納村漁業協同組合）：
サンゴの完全養殖とサンゴ群集の再生への取り組み
- ②山里祥二（NPO法人 コーラル沖縄）：
NPO法人コーラル沖縄の10年の歩みと今後
- ③金城浩二（(有)海の種）：
サンゴ畑とサンゴの移植、そしてサンゴ礁保全—これまでを振り返りこれからに活かす—

— 昼食＋交流＋情報交換 60分 —

講演 II (13:00-14:00)

- ④藤原秀一（いであ(株)）：
着床具を用いたサンゴ移植技術—これまでとこれから—
- ⑤高嶺翔太（沖電開発(株)）：
沖電開発の植付活動（現状と改善点）
- ⑥岩村俊平（(株)エコー）：
環境保全措置としてのサンゴ移植技術の現状と展望
— 休憩 10分 —
- ⑦酒井一彦（琉大瀬底研究施設）：
座間味阿真ビーチサンゴ移動：4年後の状況
- ⑧上原 直（NPO法人 グローイングコーラル）：
これまでのサンゴとの関わりと、サンゴに期待していること
- ⑨池田 智・石川 梓（ミスワリン）：
南の島のミスワリン 試行錯誤の4年間
— 休憩 20分 —

総合討論：(15:30-16:30)

司会：鹿熊信一郎（沖縄県海洋深層水研究所）

主催：（一財）沖縄美ら島財団 総合研究センター

共催：名桜大学総合研究所

後援：沖縄県・沖縄県サンゴ礁保全推進協議会・日本サンゴ礁学会サンゴ礁保全委員会

サンゴの移植

10

●参加申し込みとお問い合わせは下記まで

（一財）沖縄美ら島財団 総合研究センター 普及開発課（担当：永田俊輔）

E-mail: ocrc@okichura.jp（メールの件名は サンゴシンポ とお書き下さい）

TEL: 0980-48-2266（午前9時～午後6時） FAX: 0980-48-2200